

発がかなり関心をもっているようですね。

**大使** 今年いっぱい、あるいは来年の中頃までに、契約できそうです。現在、地震対策のための設計変更を行っています。ただ、原子炉の建設はどかが請負うか、という問題は残っていますが……。

**武山** キヤンドウやCB140以外にも、紙バルブなどの関係者の往来がふえていくようにですね。

**大使** 技術分野に於ける人事交流は非常に盛んですね。ついこの間も、カナダ運輸省開発研究所のエグルトン所長が日米運輸専門家会議に出席したのですが、カナダは磁気浮上鉄道（マグレブ）についての研究が相当進んでいます。この分野でも日加間の協力が期待できますね。

**武山** ところで銀行法の改正はいつごろになりそうですか。

**大使** 現在は最終草案の段階だと思えます。私は、次の総選挙までに——今年の六月頃までに——成立すると予測しているのですが、まだずれるかも知れないし、よく分らないですね。景気の動向によつては選挙が二、三カ月繰り下げられることも考えられます。また外国銀行の営業と相互主義（カナダ銀行の日本進出など）といった国際的な側面もありますし、信託会社など、銀行以外の金融機関に関する条項も重要です。いずれも、法案作成に当って、むずかしい問題ですね。

**武山** 相互に銀行支店をおくのは重要ですね。日本の銀行がカナダに進出すれば、日本の製造業も進出しやすくなります。銀行法の改正は、日加経済関係に新時代をもたらすかも知れません。

**大使** 本当の相互主義がかなえられればいいのですが……。ご承知のように、

米国では各州に銀行法があります。連邦国家のカナダでどういう風に単一の銀行法をまとめていくか。また日本では、銀行業務に関して法文化されていない規制もあります。日本の銀行がカナダでできることは、日本におけるカナダの銀行にも認められるという、真の相互主義でなくてはなりません。

### 活発な文化交流

最後になってしまいました。強調しておきたいのは日本とカナダが単に貿易上のパートナーというだけでなく、その関係はもっと幅広く、また深まっている、ということですね。まず、国際的討議の場における協力があげられます。例えば、毎年九月、国連総会が開会する前に、日加双方は今後三カ月間の議題について話し合い、意見を調整します。パリにおける国際経済協力会議（CIEC）や国際

エネルギー機関（IEA）などでも同様です。カナダは、そういう点では、他の国々より活発ですね。この規模の国としては、国際舞台にはいつも積極的に参加してきましたね、カナダは。

**武山** カナダの平和維持活動には、かねてから敬意を表しています。

**大使** それから、文化面では、かなりいろいろなことをやっています。一月下旬にはトロント交響楽団の公演がありました。昨年十二月には、日本のカナダ研究者が第一回セミナーを催しました。学術研究の点では非常に進展していますね、両国とも。

**武山** 最近カナダに関するいい本の翻訳が何冊か出版されましたね。

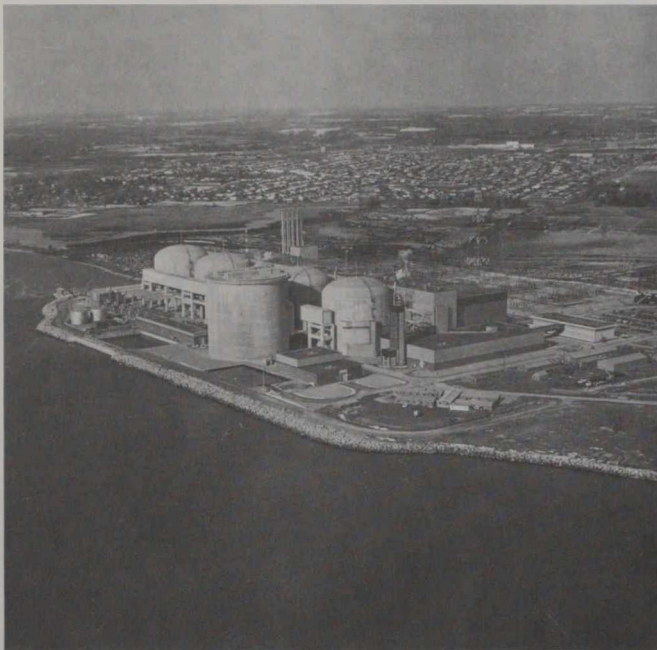
**大使** 絵画などの展示会も計画されています。スポーツは特に交流が盛んですね。カナダから空手チームや、バレーボール・チーム、アイスホッケー・チームも来りました。二月にはアルバータ・ホッケー・チームも来日する予定です。これはとてもいい傾向ですね。国と国との関係は、何と云っても人と人との交流、理解が一番大事ですから。

**広報部** 長時間どうもありがとうございました。

対談は英語でした。報告がそれを翻訳しました。

## 日加関係—— 昨年の主な出来事

- 四月 ニュー・ブランズウィック州のゲービー財務大臣が来日。
- 四月 ジョン・ロバーツ文化大臣が来日。
- 四月 筑波、慶応両大学でカナダ研究講座が開講。
- 五月 カナダ中央銀行のアイ総裁が、国際金融会議に出席のため来日。
- 五月 カナダで日系カナダ人百年祭の主行事。
- 六月 栗栖陸上幕僚長が訪加。
- 六月 バンクローバーで日加合同経済委員会第一回会議。両国外務大臣が会談。
- 九月 訪英米加歌舞伎団がカナダで公演。
- 九月 ニュー・ブランズウィック州政府使節団（団長ハットフィールド首相、ゲービー財務大臣同行）が来日。
- 九月 オンタリオ州政府使節団（団長デイビス首相、ベネット通産・観光大臣およびニューマン農業大臣同行）が来日。
- 九月 日本から国会議員団が訪加。
- 十月 ラング運輸大臣が来日。
- 十一月 サスカチュワン州鉱業開発公社使節団（団長ミッサー天然資源大臣）が来日。
- 十二月 プリティッシュ・コロンビア州政府使節団（フィリップス通産・経済開発大臣、ウォーターランド林産大臣）が来日。



カナダで開発されたキャンドウ型原子炉